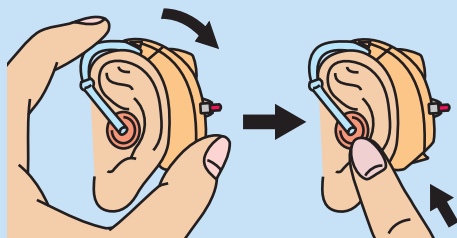


# 上手に使うために

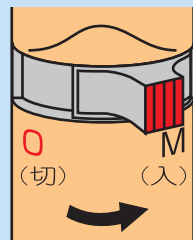
補聴器は耳の聞こえをお手伝いするものです。  
上手に使うことにより、いろいろな音、そして楽しいコミュニケーション  
(人と人のふれあい) を運んでくれます。

## 朝起きたら...

1 補聴器を耳にかける

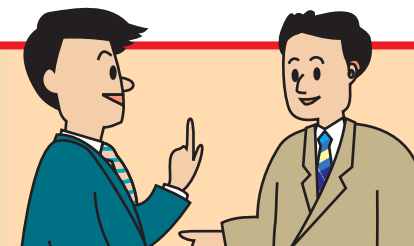
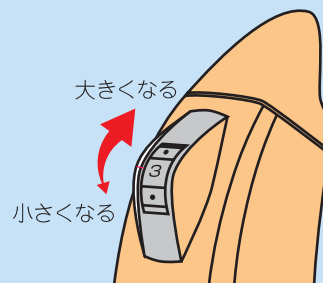


2 電源を入れる



電源を入れるときは、音を最小に。

3 聞きやすい大きさの音に合わせる



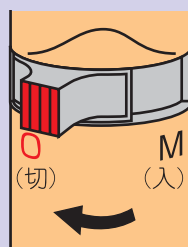
● 騒音の中では？  
(裏面をご覧ください)

● 電話で話すときは？  
(裏面をご覧ください)



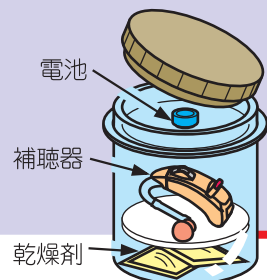
## おやすみの前に...

1 電源を切る



柔らかい布など

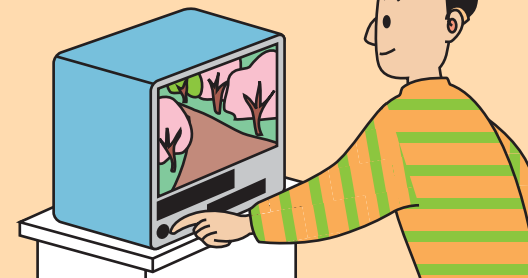
3 乾燥ケースに入れる



● ヒント 使い終わったら汚れをふき取り、電池を取り出して乾燥ケース(別売)などに入れましょう。乾燥ケースに入れるときは電池は乾燥ケース上部の内フタの中に入れてください。

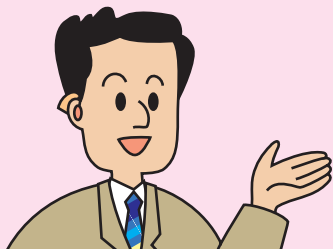
## 日中のできごと...

● テレビを見るときは？  
(裏面をご覧ください)



● それぞれの補聴器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

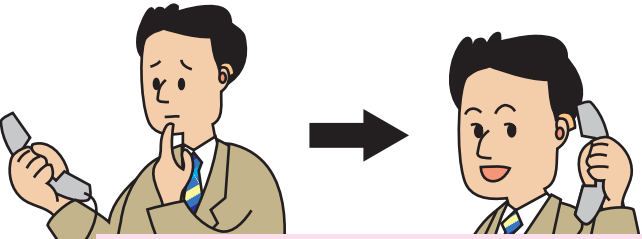
さあ、豊かなコミュニケーションを楽しみましょう。



# 楽しい生活のために こんなときは…

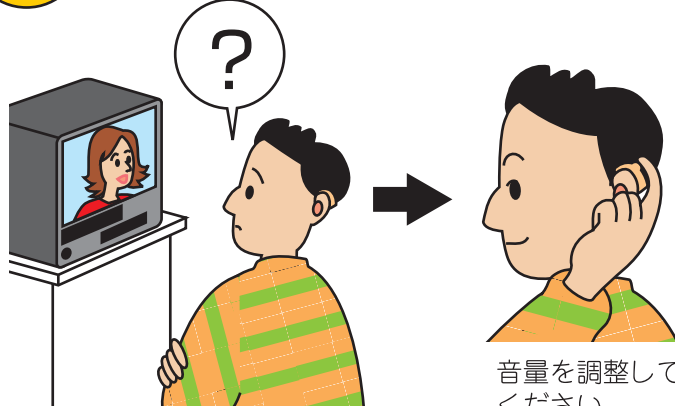
**電話で話すときは？**

受話器を補聴器のマイクに直接当たるように持つ。



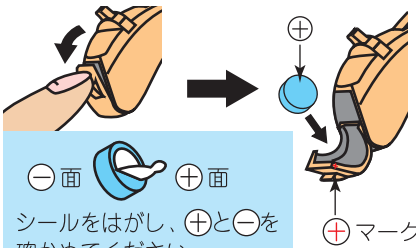
スイッチに“T”があれば  
スイッチを“T”に切り替えてみて、“M”と“T”のどちらか聞きやすい方に切り替えてください。

**テレビを見るときは？**



音量を調整してください。

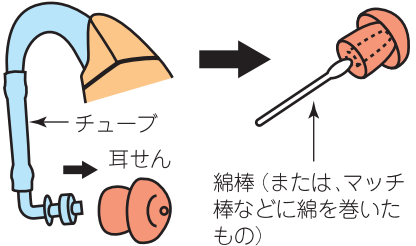
**●電池を取り替えるときは**



シールをはがし、+と-を確かめてください。  
※おまかせ回路の補聴器では、+と-のどちらでも構いません。

**●ヒント** 予備の電池は直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。出かけるときは、必ず予備の電池を持ち歩きましょう。

**●イヤモールド(耳せん)を清潔に**

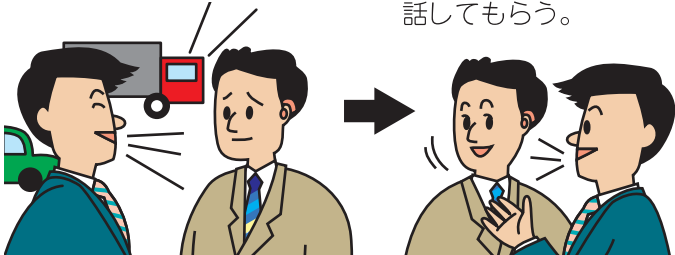


チューブ 耳せん 綿棒(または、マッチ棒などに綿を巻いたもの)

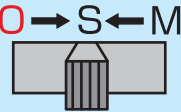
**●ヒント** 綿棒などを使っても汚れが残るときは、ぬるま湯で洗ってください。終わったらよく拭き、乾いてからお使いください。チューブに水滴がはいったら、息を強く吹いたり、こよりなどで水分をよく拭き取ってください。

**騒音の中では？**

相手に補聴器をつけた耳の方で話してもらう。

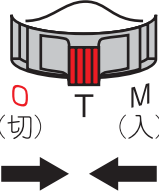


スイッチに“S”があれば  
スイッチを“S”に切り替えると、聞きやすくなります。



**！スイッチに“T”があれば**

別売のテレビエイドや関連機器\*をお使いになるとき、また、ループが敷設されている施設をご利用になるときは、補聴器のスイッチを“M(入)”から“T”の位置にすると聞きやすくなります。



**\*生活を手助けする別売の関連機器**  
**テレビ用** ● テレビエイド(GH-62) ● タイループ(ML-33)  
**電話機用** ● テレホンエイド(HL-04)  
 詳しくは販売店にご相談ください。